

第10回 高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会 平成30年度 総会

日 時 : 平成30年5月26日(土) 9:20~9:50
場 所 : 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール

議 事 次 第

1. 開会
 2. 会長 宮 英司 挨拶
 3. 審議事項
 - <第1号議案> (1) 29年度事業報告
 - (2) 29年度決算報告
 - (3) 29年度監査報告

 - <第2号議案> (1) 30年度事業計画(案)
 - (2) 30年度予算決議(案)

 4. 閉会
-

巻末資料

- 総括
会長 宮 英司
- 規約(平成30年5月26日現在)
- 会員名簿(平成30年5月26日現在)

「高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会」

平成29年度事業報告

(以下学会員のみ敬称略)

1. 4月1日 『飛騰 第101号』中刷会報 発行
私のテーマ 「いろは丸事件の記録(1)」 渋谷 雅之
話題人インタビュー 新館設計者(一級建築士) 能勢 修治 氏
「世界にも類のない記念館に～重要なプロジェクトとして～」 前田由紀枝
こぼれ話 犬歩棒当記(29)「描かれなかった歴史」 宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 「龍馬暗殺犯が高知に…!？」 宮 英司
話してみるかよ 「面が割れたか、割れないか」 小美濃 清明
2. 平成29年4月26日(水) 理事会 於：国民宿舎桂浜荘2階小広間
【理事会】第9回総会大会について
月例会について
「飛騰」学会中刷執筆者選定 他
3. 平成29年5月27日(土) 第9回 現代龍馬学会 総会・研究発表会
於：高知市文化プラザ かるぼーと 小ホール
テーマ「大政奉還150年・龍馬没後150年」
【特別講演】
高知県立高知城歴史博物館 学芸課長 藤田 雅子 氏 「大政奉還150年」
【研究発表】
土佐史談会 前副会長 谷 是 氏 「龍馬と越前藩」
井倉俊一郎 「開成館から大政奉還へ 土佐が日本国でトップランナーだったころ 九反田開成館時代」
渋谷 雅之 「いろは丸航海日記」
三浦 夏樹 「坂本龍馬の新国家構想について」
4. 平成29年6月17日(土) 理事会 於：国民宿舎桂浜荘2階小広間
【理事会】第9回総会大会総括
第10回総会大会開催について
今後の活動について(月例会発表、「飛騰」学会中刷執筆者選定 他)
5. 7月1日 『飛騰 第102号』中刷会報 発行
私のテーマ 「いろは丸事件の記録(2)」 渋谷 雅之
特集 第9回現代龍馬学会総会・研究発表会 テーマ「大政奉還150年・龍馬没後150年」
こぼれ話 犬歩棒当記(30)「田中伯爵邸の白い花」 宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 「以蔵と龍馬」 宮 英司
話してみるかよ 「四半世紀」 江上 英治
6. 平成29年8月30日(水) 臨時理事会 於：高知会館3階弥生の間
今後の活動について(理事会開催日程、月例会発表者、「飛騰」学会中刷
執筆者選定 他)
第10回大会開催について
理事の辞任に伴う後任者選任について

7. 10月1日 『飛騰 第103号』中刷会報 発行
私のテーマ 「いろは丸事件の記録(3)」渋谷 雅之
話題人インタビュー 龍馬研究家(龍馬の子孫) 土居 晴夫 氏
「坂本家ゆかりの人々の思い出 ～龍馬没後150年に聞く～」前田由紀枝
こぼれ話 犬歩棒当記(31)「→矢印の研究←」宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 「坂本龍馬の話術」政井 寛保
話してみるかよ 「大石団蔵のこと」宮 英司
8. 平成29年10月20日(金) 理事会 於：国民宿舎桂浜荘
【理事会】理事会・月例会開催について、
「飛騰」学会中刷執筆者選定
第10回現代龍馬学会について
紀要について
9. 平成29年12月16日(土) 理事会・月例会 於：国民宿舎桂浜荘地下会議室
【理事会】理事会・月例会開催について、
「飛騰」学会中刷執筆者選定
第10回現代龍馬学会について
10. 1月1日 『飛騰 第104号』中刷会報 発行
私のテーマ 「変わる事のない龍馬像」政井 寛保
話題人インタビュー デザインディレクター 高辻 純哉 氏
「龍馬の人生をリアルに伝えたい ～新館、本館の展示設計を手掛ける～」前田由紀枝
こぼれ話 犬歩棒当記(32)「薩長同盟とは何か？」宮川 禎一
コラム・龍馬のこと 「池道之助の記録から」鈴木 典子
話してみるかよ 「龍馬さんと私の孫たち」藤長 一美
11. 平成30年2月17日(土) 理事会 於：坂本龍馬記念館新館ホール
【理事会】会報(「飛騰」中刷)執筆者選定
第10回現代龍馬学会について
月例会発表(来年度6月より)について
論集9号(紀要)について
12. 平成30年3月17日(土) 理事会 於：坂本龍馬記念館新館ホール
【理事会】第10回現代龍馬学会について
会報(「飛騰」中刷)執筆者・月例会発表者選定
論集9号(紀要)について

「高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会」 平成30年度事業計画（案）

- ① 定期総会 2018年5月26日（土）
- ② 現代龍馬学会大会開催 2018年5月26日（土）
会員の研究発表
- ③ 理事会・月例会
勉強会と記念館・会員からの報告、交流
（4月、6月、10月、12月、2月）
- ④ 「飛騰」中刷会報 発表
年4回（1月・4月・7月・10月）の記念館だよりに見開き4ページ
「私のテーマ」
（「見開きページ」）
「こぼれ話」「コラム・龍馬のこと」「会員便り “話してみるかよ”」
- ⑤ 第10号論集発行（紀要）

その他

大会運営委員会、編集委員会、ホームページ委員会、例会委員会の各委員会のもと会務を執行する。

- 1、大会運営委員会 委員長 前田由紀枝
- 2、編集委員会 委員長 宮 英司
- 3、ホームページ委員会 委員長 亀尾美香
- 4、例会委員会 委員長 江上英治

総括

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、「革命的な時代を生きた坂本龍馬に学び、その志を受け継いでいこう」という趣旨のもと、2009（平成21）年に発足しました。

これまで9年間、毎年春に総会と研究発表会を開催し、研究発表の成果を『紀要』または『論集』にまとめて出版してきました。また、2か月ごとに例会と研究発表を行うとともに、龍馬記念館発行の機関誌『飛騰』の学会ページを作成してきたほか、会員それぞれのテーマにもとづいたパネル展示も開催するなど、活動を続けてきました。この間、私たちの活動を支えてくださった龍馬記念館のスタッフの皆さんに、心より感謝したいと思います。

学会の活動の中心ともいえるべき春の研究発表会は、県内外の多くの人たちの参加と協力を得て、ますます充実したものになってきています。2017年の第9回は、「大政奉還150年・龍馬没後150年」をメインテーマにして71人が参加して熱心な発表と討論が行われました。特別講演には、高知県立高知城歴史博物館学芸課長の藤田雅子さんをお招きし、「大政奉還150年～節目の年にその意味を考える～」という演題で、タイムリーなお話をいただきました。また、土佐史談会前副会長の谷是さんをはじめ、4人による研究発表は、永年の研究をもとにした、知見に満ちたものであり、大変勉強になりました。

今、私たちを取り巻く状況を見ると、国の内外に切迫した課題が山積していることに気づきます。これから先、私たちはどのような方向に向かって歩いていけばいいのでしょうか？龍馬の生涯と思想に学び、自由と平和の精神を引き継いでいくことがますます大切になっているように思われます。今年は龍馬が目指した、新しい世の訪れであった「明治維新」から150年という記念の年であります。龍馬記念館のグランド・オープンと、県下で開催中の「志国高知幕末維新博」の第二幕との相乗効果を期待しつつ、現代龍馬学会の活動を今後いっそう活発にしていきたいと考えるものです。

会長 宮 英司